

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1104		
科目名	論理学 2		
担当教員	上野山 晃弘		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 2		
講義室	1206	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D 〔市民的素養・市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP3-H 〔論理的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-I 〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP7-C 〔他者理解・倫理観・公共心〕人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 C1 倫理的思考・社会認識（20%） D1 市民的素養と参加（40%） H2 批判的思考（20%） I1 理解・分析と読解（20%）		
教員の実務経験	特にありません。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期～3 発展期		
科目概要・キーワード	多様な価値観や考え方が存在する現代社会の中で、ものごとを論理的に考えるための明晰な思考力は不可欠です。この科目では、地球温暖化、宇宙科学、地震の予知、動物実験、原爆投下といった現代社会が抱える具体的な諸課題をめぐる議論を取り上げながら、論理的思考法を修得することを目的とします。 授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 （キーワード）論理的思考法・クリティカルシンキング・科学技術と現代社会		
授業の趣旨	■副題 情報化が進む現代社会の中で、人々の価値観や考え方はますます多様化し、複雑化しています。この授業では、論理的に明確に考えるための方法（クリティカルシンキング）の修得をめざします。 ■授業の目的 日本大学の自主創造の理念にもとづいて、論理的思考法を修得し、対立する多様な考え方の中で議論の妥当性を自ら吟味できるようになることを目的とします。 ■授業のポイント テキスト講読・グループワーク・リアクションペーパーへの取り組みを通して、論理的な基礎知識と思考法の修得をめざします。		

総合到達目標	■「市民的教養」、「論理的・批判的思考力」、「理解力・分析力」、「倫理観・公共心」を総合的に修得するために、論理的思考法（クリティカルシンキング）に関する知識を修得した上で、現代社会の諸課題に対する問題意識を深め、問題解決に向けて論理的な観点から自らの考えを形成できるようになる。 ・論理学（クリティカルシンキング）の基礎知識を修得し、それを活用できる（第1回～第15回）。 ・テキストを読解し、議論の妥当性を吟味できる（第3回～第12回）。 ・他の学生と意見交換（対話）を行うことができる（第3回～第12回、第15回）。 ・自らの考えを文章として論理的に表現できる（第2回～第15回）。 ・現代社会の諸問題に深い関心を持ち、それを論理的に考察できる（第2回～第15回）。	
成績評価方法	■リアクションペーパー15回（45%）：適用ルーブリック C1・D1・H2・I1 （評価の観点）授業内容の理解力、考察力、論理的な文章力をはかります。 （フィードバック方法）授業時間中に講評・解説を行います。 ■レポート1回（55%）：適用ルーブリック C1・D1・H2・I1 （評価の観点）授業内容の理解力、考察力、論理的な文章力をはかります。 （フィードバック方法）授業時間中に出題意図の説明を行います。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	「論理学」に関心と学修意欲があること（毎回の授業に参加し、リアクションペーパーに取り組む意志があること）を求めます。なお、初回到シラバスの詳細を説明しますので必ず出席してください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 論理的思考法を学ぶ意義 ②授業概要 シラバスの詳細について理解した上で（I1）、論理的思考法（クリティカルシンキング）を学ぶことの意義について考察できるようになる（D1）。 ③予習（120分） シラバスを熟読した上で、新聞の社説（同一テーマに関する複数の社説）を読み比べ、その議論の妥当性について考察する。 ④復習（120分） 授業内容をふりかえり、現代社会において論理的思考法（クリティカルシンキング）を学ぶ意義についてさらに考察を深める。
	2	①授業テーマ 論理的思考法の基礎 ②授業概要 論理的思考法（クリティカルシンキング）に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その意義について深く考察できるようになる（D1）。 ③予習（120分） シラバスの詳細についてふりかえり、その理解を深める。また、教科書（i-vii頁）を読み、「クリティカルシンキング」の意義について考察する。 ④復習（120分） 授業中に指示する教科書の範囲を熟読して授業内容をふりかえり、現代社会において論理的思考法（クリティカルシンキング）を学ぶ意義についてさらに考察を深める。
	3	①授業テーマ 地球温暖化への対応について（1）反対派の議論 ②授業概要 上記のテーマに関するテキストを読解し（I1）、その論理の妥当性を吟味した上で、他の学生と意見交換しながら、自らの考えを形成できるようになる（C1・D1・H2）。 ③予習（120分） 教科書（144-149頁）を読み、議論の妥当性を吟味する。 ④復習（120分） 教科書（144-149頁）および授業の内容をふりかえり、議論の妥当性に関する自分の考察をさらに深める。
	4	①授業テーマ 地球温暖化への対応について（2）賛成派の議論 ②授業概要 上記のテーマに関するテキストを読解し（I1）、その論理の妥当性を吟味した上で、他の学生と意見交換しながら、自らの考えを形成できるようになる（C1・D1・H2）。 ③予習（120分） 教科書（149-150頁）を読み、議論の妥当性を吟味する。

	④復習（120分） 教科書（149-150頁）および授業の内容をふりかえり、議論の妥当性に関する自分の考察をさらに深める。
5	①授業テーマ 宇宙科学・探査への公的投資の是非について（1）賛成派の議論 ②授業概要 上記のテーマに関するテキストを読解し（I1）、その論理の妥当性を吟味した上で、他の学生と意見交換しながら、自らの考えを形成できるようになる（C1・D1・H2）。 ③予習（120分） 教科書（165-172頁）を読み、議論の妥当性を吟味する。 ④復習（120分） 教科書（165-172頁）および授業の内容をふりかえり、議論の妥当性に関する自分の考察をさらに深める。
6	①授業テーマ 宇宙科学・探査への公的投資の是非について（2）反対派の議論 ②授業概要 上記のテーマに関するテキストを読解し（I1）、その論理の妥当性を吟味した上で、他の学生と意見交換しながら、自らの考えを形成できるようになる（C1・D1・H2）。 ③予習（120分） 教科書（172-177頁）を読み、議論の妥当性を吟味する。 ④復習（120分） 教科書（172-177頁）および授業の内容をふりかえり、議論の妥当性に関する自分の考察をさらに深める。
7	①授業テーマ 地震の予知について（1）賛成派の議論 ②授業概要 上記のテーマに関するテキストを読解し（I1）、その論理の妥当性を吟味した上で、他の学生と意見交換しながら、自らの考えを形成できるようになる（C1・D1・H2）。 ③予習（120分） 教科書（194-203頁）を読み、議論の妥当性を吟味する。 ④復習（120分） 教科書（194-203頁）および授業の内容をふりかえり、議論の妥当性に関する自分の考察をさらに深める。
8	①授業テーマ 地震の予知について（2）反対派の議論 ②授業概要 上記のテーマに関するテキストを読解し（I1）、その論理の妥当性を吟味した上で、他の学生と意見交換しながら、自らの考えを形成できるようになる（C1・D1・H2）。 ③予習（120分） 教科書（203-207頁）を読み、議論の妥当性を吟味する。 ④復習（120分） 教科書（203-207頁）および授業の内容をふりかえり、議論の妥当性に関する自分の考察をさらに深める。
9	①授業テーマ 動物実験の是非について（1）反対派の議論 ②授業概要 上記のテーマに関するテキストを読解し（I1）、その論理の妥当性を吟味した上で、他の学生と意見交換しながら、自らの考えを形成できるようになる（C1・D1・H2）。 ③予習（120分） 教科書（230-236頁）を読み、議論の妥当性を吟味する。 ④復習（120分） 教科書（230-236頁）および授業の内容をふりかえり、議論の妥当性に関する自分の考察をさらに深める。
10	①授業テーマ 動物実験の是非について（2）賛成派の議論 ②授業概要 上記のテーマに関するテキストを読解し（I1）、その論理の妥当性を吟味した上で、他の学生と意見交換しながら、自らの考えを形成できるようになる（C1・D1・H2）。 ③予習（120分） 教科書（237-241頁）を読み、議論の妥当性を吟味する。 ④復習（120分）

		教科書（237-241頁）および授業の内容をふりかえり、議論の妥当性に関する自分の考察をさらに深める。
	11	①授業テーマ 原爆投下の是非を論じることの正当性について（１）賛成派の議論 ②授業概要 上記のテーマに関するテキストを読解し（I1）、その論理の妥当性を吟味した上で、他の学生と意見交換しながら、自らの考えを形成できるようになる（C1・D1・H2）。 ③予習（120分） 教科書（258-264頁）を読み、議論の妥当性を吟味する。 ④復習（120分） 教科書（258-264頁）および授業の内容をふりかえり、議論の妥当性に関する自分の考察をさらに深める。
	12	①授業テーマ 原爆投下の是非を論じることの正当性について（２）反対派の議論 ②授業概要 上記のテーマに関するテキストを読解し（I1）、その論理の妥当性を吟味した上で、他の学生と意見交換しながら、自らの考えを形成できるようになる（C1・D1・H2）。 ③予習（120分） 教科書（265-269頁）を読み、議論の妥当性を吟味する。 ④復習（120分） 教科書（265-269頁）および授業の内容をふりかえり、議論の妥当性に関する自分の考察をさらに深める。
	13	①授業テーマ 論理的思考法と現代社会の諸問題（１）小括 ②授業概要 論理的思考法に関する理解を深め（I1）、現代社会の諸問題に関する議論の妥当性をさらに詳細に吟味できるようになる（C1・D1・H2）。 ③予習（120分） 授業内容の全体をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習（120分） この授業での学びをふりかえり、自分の考えをさらに深める。
	14	①授業テーマ 論理的思考法と現代社会の諸問題（２）小括と理解度の確認 ②授業概要 今学期の学びをふりかえり、議論の要点をまとめるとともに、議論の妥当性に関する自分の考察結果を論理的に表現できるようになる（C1・D1・H2・I1）。授業中にまとめの授業とレポートを実施します（授業時間中に出題意図の説明を行います）。 ③予習（120分） 授業内容をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習（120分） 自分の考察結果についてふりかえり、論理的な知識とその現代的意義についてさらに自らの考えを深める。
	15	①授業テーマ 総括 ②授業概要 今学期の学びをふりかえり、他の学生と意見交換（対話）した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる（C1・D1・H2・I1）。 ③予習（120分） 授業内容をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習（120分） 自分の考察結果についてふりかえり、論理的な知識とその意義についてさらに自らの考えを深める。
関連科目	論理学 1（RMGT/SSCS1103）	
教科書	伊勢田哲治・戸田山和久・調麻佐志・村上祐子（編）『科学技術をよく考える クリティカルシンキング練習帳』（名古屋大学出版会、2013年、定価（本体2,800円＋税）） ※教科書は必ず購入し、毎回の授業に持参してください。	
参考書・参考URL	授業時間内に指示します。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に告知します。 ■オフィスアワー：開講時に告知します。場所はラーニングセンター（1号館2階）またはオンラインにて対応します。	

研究比率	
------	--

